

3月11日付 朝日小学生新聞で全国へ発信

「石巻日日こども新聞」と朝小が特別紙面

被災地の今を両紙の子ども記者が合同取材

朝日小学生新聞（朝小）は、東日本大震災から4年を迎えた3月11日付で、宮城県石巻市の「石巻日日こども新聞」と共同企画した特別紙面をつくりました。特集面では両紙の子ども記者たちが被災地の今をレポート。石巻日日こども新聞の本日付紙面（ブラケット判4ページ、写真左）も、朝小にはさみこんで全国の読者に届けました。

石巻日日こども新聞は、石巻地域の小学生から高校生を中心とした記者たちがつくる新聞です。復興の歩みを子ども目録で記録しようと、震災から1年後の2012年3月11日に創刊しました。震災直後の壁新聞発行で国際的に知られることとなった地域紙「石巻日日新聞」の協力で、仙台市の一般社団法人「キッズ・メディア・ステーション」が年4回発行しています。



2017年に創刊50周年を迎える朝小は、記念事業の一環として、石巻日日こども新聞の活動を全国の子どもたちに届けるお手伝いをしました。

朝小の読者にも、紙面にレポートを送ったり編集部の記者と取材をしたりする子ども記者「朝小リポーター」がいます。11日付の特集では、東京在住の朝小リポーター3人が石巻の中学生記者2人と一しょに、仮設住宅での暮らしや、復興に汗を流す商店の人々の姿を現地から報告しました。

松林拓希さん（石巻市立蛇田中1年）は「東京の子にシャッター通り商店街を見てほしいと思いました。今の石巻が分かるからです。想像をはるかに超えるつらい経験をした人たちの思いを伝えることが、ぼくたち記者の役目」と話していました。

【取材等のお問い合わせ先】 朝日学生新聞社 広報・教育メセナ部

〒104-8433 東京都中央区築地5-3-2 TEL.03-3545-5223 FAX.03-3545-0978

メール：press@asagaku.com URL：www.asagaku.com